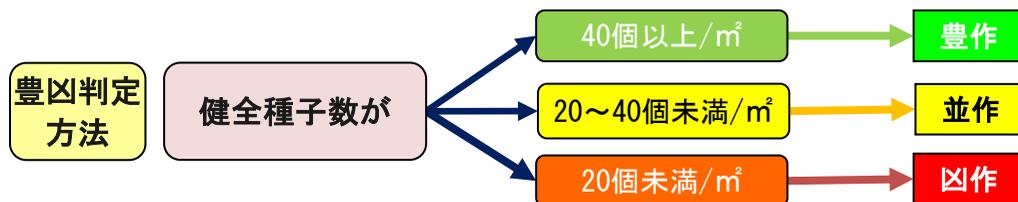


令和5年度コナラ豊凶結果について

- コナラの調査目的
野生動物の生息動向に影響を与えとされるコナラの豊凶を調査することにより、森林生態系等への影響や異変を察知し、その原因を解明します。
- 調査方法及び調査時期
県内11カ所のコナラ林の調査地にトラップ(1㎡の円形ネット)を設置し、トラップに落下したコナラの実を数えます。
調査時期は実が落下する9月～11月頃に行っております。
- コナラの豊凶基準及び結果
コナラの豊凶については、豊凶区分に関して既存の論文等の報告がないことから、これまでの調査結果を基に、下記のとおり豊凶基準を作成しております。
(トラップ(5個:a、10個:b)に落下した種子を判別して、その中の健全種子数が40個以上/㎡を豊作、20～40個未満/㎡を並作、20個未満/㎡を凶作とする。)



豊凶結果				
	調査箇所	健全種子数 (個/㎡)	虫害種子数 (個/㎡)	豊凶判定 結果
1	眺海の森(a)	31.8	30.0	並作
2	西荒屋(a)	8.2	10.2	凶作
3	秋山(a)	0.2	7.2	凶作
4	庭月(b)	1.9	26.2	凶作
5	判屋(a)	18.6	19.8	凶作
6	鶴子(b)	0.0	39.9	凶作
7	堂の前(b)	1.8	31.4	凶作
8	大谷(b)	20.7	41.6	並作
9	古竜湖(a)	0.0	5.2	凶作
10	健康の森(a)	0.2	1.0	凶作
11	源流の森(a)	8.2	9.4	凶作

コナラ豊凶結果 位置図

令和5年12月1日
山形県環境科学センター

